

No.15 竹やぶがたいへんだ！

常日頃からそそっかしい田中三太夫が、近所の医者沼田竹庵の診療所に駆け込んできた。

三太夫：「てーへんだ！ てーへんだ！ 助けてくださえ、先生」

竹庵：「何だねえ、朝っぱらから。大変てなあ、大変なときに使うもんだよ！ 三太夫さん」

三太夫：「だから、てーへんなんですよ。うちの竹藪の竹がみんな花あ咲かせちゃったんですよ。花が咲くてえーっと、竹は駄目になるって聞いてますがねえ、先生どうすりゃいいですかい？」

竹庵：「だからお前さんは、そそっかしいってんだよ。竹のことなら植木屋の源さんそこへ行きねえな。」

三太夫：「あれ？ 世間じゃみんなが、先生のことを「やぶ、藪」って言ってるんで、あっしや、てつきり先生は竹の先生かと思っただんでやすがねえ??？」

